



## 質問コーナー

当院ホームページに寄せられたメールでのお問い合わせの中から、よくある質問にお答えしていくコーナーです。



**Q.** アキレス腱を断裂し手術をすべきかしなくて治すか悩んでいます。アドバイスをください。

**A.** アキレス腱断裂は、10代後半から高齢者まで幅広い年齢の方々に起こる可能性があり、受傷後ふくらはぎの筋肉がうまく作用しないためつま先立ちができなくなりますが、痛みが強くない場合は歩くことは可能です。

より詳細に診断する場合にエコー検査が有効ですが、足関節を底屈しても切れた腱同士が離れたままであれば保存療法での治療は困難なため、手術療法の適応となります。

たとえば、仕事の都合や家族の関係で入院できない、また、内科疾患があるために手術はおすすめできない場合は保存的治療となります。

早期にスポーツ復帰したい場合は、できるだけ筋力低下を抑える意味で手術をおすすめします。

一方手術療法では、メスを入れることによる合併症（感染、縫合不全 etc.）の可能性もあり、入院を必要とすることが多いのも短所になります。

保存的でも手術でも6か月経った段階での状況はほぼ変わりません。

当院ではエコー検査を用いて治療法の適応を判断し、また、どちらの治療法を選択した場合でもアキレス腱断裂用装具（写真）を使用し、装具除去の時期やリハビリテーションの進め方などを決定しています。

